



今月の一枚

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2020年(令和2年)

6月号

VOL.320

順番に老院の棺に肩入れをする寺族 (5月22日順慶寺本堂にて、岡川経康氏撮影)

◆◆ 肩入れ式 ◆◆

順慶寺老院が5月17日、満87歳にて逝去し、密葬は、5月22日、順慶寺本堂で行われた。その際、棺を担ぐための紐を関係者が順に肩にかける肩入れ式を実施。肩入れ式は、今では寺族の葬儀のみ行われる儀式とされる。

◇ 心はすべてを作り出す ◇

今月の釈尊の言葉も、『ダンマパダ』からの出典です。

「心はすべてのものごとに先立ち
すべてを作り出し、全てを左右する。」

もし人が、汚れた心で
話し、行動するならば
その人には苦しみがついてくる。

車輪が、荷車を引く牛の足跡についていくように。

もし人が、清らかな心で
話し、行動するならば
その人には、幸せがついてくる。

影が、からだを離れることがないように。」
(『ダンマパダ』一)

私たちは、心は自分の力で制御できるように
思いますが、意外にも、心のあり方で振り
回されているように思います。

心は、一説に、凝々(こころ)から派生したといわれています。「凝」一所にかたまって動かない



今月のブツダの言葉

心はすべてのものごとに先立ち

すべてを作り出し左右する



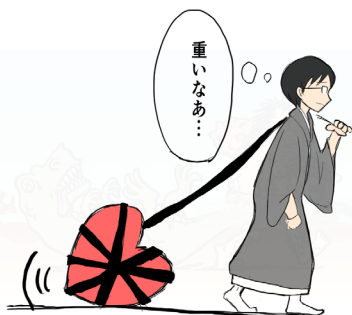
という意味の漢字を重ねると、一つのこと
に固まっても、すぐ変わっていくことと表現さ
れます。つまり、心は、ころころと変わるも
のだと言う意味です。

私たちは、心のあり方一つで、苦痛に満ち
た身となり、幸せに溢れる身ともなる。釈尊
は、『ダンマパダ』の冒頭で、仏弟子たちに切々
と訴えています。

◇ 阿弥陀様に安んじる ◇

五月十七日、順慶寺老院が亡くなりました。
老院本人は、肺癌であることを認めず、最期

若院のテーマカット NO.15



まで苦しみの中で、法務に復帰することを目標としていましたので、無念な気持ちだったように思います。また、老院の希望で、最期まで入院はせず、在宅での看病を選びました。それが本人のために本当に良かったのか、悩むところです。

亡くなるまでの二ヶ月は、老院に激しい①譫妄が現れ、昼夜逆転や幻覚・妄想に、寺族のストレスも頂点に達してしまい、十分な介護が出来なかった面もありました。

その中で、唯一、老院と本堂で参りできた時が、救われる時間でした。皆様のお陰で、御遠忌以降、庫裏から本堂に車椅子で行けるようになったためです。歯がなくなり、声もかすれる老院が、かつてのように、導師をつとめ、本堂でお夕事を勤めさせていただいたとき、不思議と顔

が緩み、肺がつかく声も出にくい中でも張りがでます。その瞬間、車椅子を押す若院と私たちも、うれしさが涙が溢れました。思いおこすと、病床の老院が、「お前たちは、みな悪人だ。オレを陥れようとしている」と、叫んだこともありました。そのとき、「一生懸命に介護しているのに、何故、そんなことを言われるのだろう」と善人ぶる自分に気づかされるも、やはり悪人になれない自分がありました。

今朝いただいた『御文』さまは、『末代無知の在家止住の男女たらんともがらは、たどひ罪業は深重なりとも、かならず弥陀如来すくひましますべし』と。今は、老院が喜んだ阿弥陀様の心に安んじ、慶びを共有しています。

反応が乏しく、無表情・無気力などの症状を呈する。また、「混合型」は、両方があらわれる場合をいう。

②【未代無知】蓮如上人の『御文』五帖八十通の中で、一帖目から四帖目までは、お手紙を年代順に並べてあるが、五帖目は、不明なものが集められている。五帖目の冒頭は、「未代無知」の御文で、古来より多くの門徒の道標となっている。

①【譫妄】高齢者特有の「虚弱な状態」に、何らかの身体的、心理的な引き金となる因子が加わることで起こる脳意識レベル障害のこと。通常以下の三つに分類される。「過活動型」は、いつもより大声で話したり、興奮したりイライラして落ち着かず、幻覚や妄想が出現し、つじつまが合わない話をする、といった症状。不眠もよく見られる。一方、「低活動型」は、

念仏を欲ぶ人
妙好人の世界
[第94回]
《味おうてくれ》
物種吉兵衛
(2)

《吉兵衛のふるさと》

堺の妙好人として知られる物種吉兵衛は、大阪の浜尾村（堺市浜寺寺尾町）に、享和三年（一八〇三）一月二十七日に生まれました。吉兵衛の父親は、物種利兵衛といい、土蔵をもち、広大な田畑や屋敷をもつ、当時としては、なかなか裕福な農家で、吉兵衛は、利兵衛の一人息子として生まれました。当時としては珍しく、兄弟はなく、一人っ子として、少しわがままに育てられました。

青年期には、村一番の体躯を誇り、体重は八十kg以上。村相撲では、横綱級だったと言います。村では、赤禪をつけて歩く吉兵衛をよく見かけたそうです。吉兵衛の生まれた浜尾村は、もともと真言宗の信者が多かったと言われています。ところが、蓮如上人が、文明八年（一四七六）から十年間、信証院（現在の本願寺堺別院）に滞在されたことがあり、この折、船尾村村長の小田七右衛門が、上人の教化に深く感銘を受け、本願寺の門徒となりました。その後、船尾村は、村をあげて浄土真宗に改宗したといえます。吉兵衛の祖先は、村の元締めをしたこともある名家であり、吉兵衛も浄土真宗の教えの中で育てられました。

《第二回 オンライン授業》

一連のコロナ禍で同朋大学の講義もネットを通じてのオンライン授業となりました。歎異抄や選択集、教行信証などを講読したりしています。こういった書物を読むのは初めてで難解な言葉が右へ左へ飛び交う中、講義を受けています。オンラインということで先生や生徒とのコミュニケーションがとりにくい面があります。六月末に対面授業が開始されますので待ち遠しく思います。

子と共に
半襟
五月十七日、お祖父ちゃんが亡くなりました。悲しむ間もなく、葬儀の準備が始まり、慌ただしい中、嫁に来て初めて喪服を着ることに。恐る恐る開いてみると、喪服の白襦袢には、きちんと半襟が縫い付けられていました。「疲れているけど、夜になったら半襟をつけなさい」と心配していたのですが、二十五年前、嫁に来るとき、里の母親が前もって縫い付けてくれたものだったのでしょう。大事な葬儀の時、うろろして娘が困らないようにと、心配してくれたからでしょうか。本当に助かりました。先に逝ったお祖父ちゃんも、きっと最期まで私たちのことを心配していただろう、と親心を思うと、目頭が熱くなりました。

佳帆子
大好きなおじいちゃん、
今までありがとう。

順慶寺第二十世住職

当山老院逝去

令和二年五月十七日午後一時三十二分、老院が肺癌のため逝去し、五月二十二日、当山にて密葬が執り行われました。法名・定寛院釋良裕、行年八十九歳。



順慶寺第二十世・良裕

順慶寺第二十世住職・良裕(老院)は、昭和七年九月、順慶寺で生まれ、二歳で母親を亡くし、十六歳で父親(第十九世・良雅)を亡くしました。苦学して、名大文学部国史学科に入学しましたが、経済的には厳しく、門徒総代に書籍の購入費などを工面していただいたといひます。

門徒の強い要請により、昭和三十年、大学卒業後ただちに、二十世住職に就任



順慶寺役員とのお別れ(5月21日、順慶寺庫裏)



焼香する若院を見護る住職(5月22日、順慶寺本堂)

し、御遠忌などの大法要を十年おきに厳修させていただきました。大法要を厳修させて頂く度に、庫裏の修繕、鐘楼の新築、水舎の新築、奥座敷の修繕などがなされ、現在の順慶寺の礎が築かれました。平成十年、第十九世・良雅の五十回忌を機に、住職を現任職に譲り、自ら進んで老院となりました。

老院として順慶寺に従事している間にも、書院の改築、本堂内陣の洗い、そして本堂の屋根替え、山門の改築などがなされ、生涯にわたり、順慶寺の発展に貢献しました。

平成三十年十月に厳修された、親鸞聖人七百五十回御遠忌法要では、大変元氣

だった老院ですが、その頃から体調に異変が現れはじめ、前立腺癌が発見されました。前立腺の状態は悪い状態ではなく、安定していたのですが、昨年八月、酷い腰痛によって一時法務を休み、一ヶ月療養をしました。診察していただいた整形外科では、腰にマッサージをしすぎて、骨が砕けたとの診断もあり、痛み止めの薬を処方していただき、九月には法務に復帰しました。しかし、昨年十二月末、再び腰痛が悪化し、法務から完全に離れ、要介護一の認定を受けました。

本人の希望により、入院はせず自坊での療養となりましたが、症状は回復せず、医師によって、腰痛の原因は、肺癌が原因であるとの診断がされました。本人は、肺癌を認めず、法務に復帰することを目指しましたが、症状は重くなり、三月には要介護五となり、去る五月十七日、自坊庫裏にて家族に見まもられ静かに亡くなりました。

新型コロナウイルスの関係で、五月二十二日、親族・役員のみで密葬を執り行いましたが、今後、コロナの状況を見て、本葬を執り行う予定にしております。

遺骨は当山本堂南余間に安置

忌明法要が執り行われる、七月三日までの間、老院の遺骨等は、当山本堂南余間に安置してあります。ご縁のあります方、随意お参りして下さい。

5月度護寺会物故者

圓融院釋幸栄

5月10日寂 志水幸一(93)

名古屋市 早川裕之様の義父

積寧院釋尼妙澄

5月11日寂 池田すみ子(86)

安城市 池田卓夫様の母

釋尼苗恵

5月24日寂 岡本早苗(84)

今川東組 岡本正様の母



墓地管理委員会

西側墓地側溝工事了承

順慶寺墓地管理委員会では、順慶寺境内墓地のうち、西側墓地の一部で、側溝に足がはまって危ないとの声を受け、五月二十三日の会議で、

側溝を埋めることを決定しました。ただし、墓地所有者の中には、側溝は花の水を捨てるのに是非必要だとの声もあり、水を流せるような傾斜を設けることになりました。工事は、盆前には終了の予定。

編集部短信

◆竹林に感謝の整備ー五月十三日、相木国男氏の竹林にて、タケノコを掘らせて頂いた感謝をこめ、総代OB有志で、竹林整備をした。

◆法事のネット配信二件実施ーコロナの影響で法事ができず、本堂でお参りをしておいてほしいと依頼があった方の中で、二件、法名をあげて、本堂での法事をライブ配信した。

◆住職の喪主用杖、責役の竹林から調達ー老院の密葬で使われた住職の喪装のうち、旅路の杖となる青竹を、責役の相木国男氏が自らの竹林で採取された。

編集雑記

冬寒いだろうとトイレに入れた暖房機、介護のための除菌消臭機、加湿器など、今は主がありません。そして、夏に備えクーラーを取り付ける当日、老院は逝きました。それらを見る度に、胸が締め付けられ、今、老院はどこにいるのだろうと、僧侶の身でありながら、落ち着かない自分があります(住)。

老院が亡くなる日の未明、こちらの問いかけにうんうんとうなずく老院の姿が目に見えています。いつも家にいた老院がいけないのは悲しいですが、とても有り難い経験をさせてもらったと思います(若)。



6月の主な行事予定

| 日 | 曜 | 行事内容 | 掃除当番 |
|----|---|----------------------|------|
| 1 | 月 | ↑ 臨時責役四役会(19:00、順慶寺) | |
| 2 | 火 | ↓ 新型コロナによる 活動自粛期間 | |
| 3 | 水 | | |
| 4 | 木 | | 木-1 |
| 5 | 金 | | |
| 6 | 土 | | |
| 7 | 日 | | |
| 8 | 月 | | |
| 9 | 火 | | |
| 10 | 水 | | |
| 11 | 木 | | 木-2 |
| 12 | 金 | | |
| 13 | 土 | | |
| 14 | 日 | | |
| 15 | 月 | | |
| 16 | 火 | | |
| 17 | 水 | | |
| 18 | 木 | | 木-3 |
| 19 | 金 | | |
| 20 | 土 | | |
| 21 | 日 | | |
| 22 | 月 | | |
| 23 | 火 | | |
| 24 | 水 | | |
| 25 | 木 | | 木-4 |
| 26 | 金 | | |
| 27 | 土 | | |
| 28 | 日 | 宗祖聖人御命日(寺族と役僧で勤める) | |
| 29 | 月 | | |
| 30 | 火 | | |
| 31 | 水 | | ↓ |

6月行事内容 詳細

臨時責役四役会(臨時会)

6月1日(月)

午後7時 順慶寺玄関

新型コロナウイルスに対する重要な判断をするために、五回目の会議を開催します。今回は、緊急事態宣言が解除された後の初会議。今後のコロナ時代をどう運営するか、重要な会議となります。

また、老院の本葬をいつ執行するか決定する予定。葬儀の式事、葬儀社も加わって、日程を議論します。コロナ第二波の影響が予想されるため、難しい判断を要する会議となります。



岡崎教区二十一組

前半事業の自粛について

岡崎教区二十一組(富士松地区七ヶ寺)では、新型コロナウイルスの影響を鑑み、今年度前半の教化事業の自粛を決定しました。具体的に自粛となった事業は、以下の通り。

記

- 5月22日(金) 第一回同朋教室
- 6月19日(金) 第二回同朋教室
- 7月7日(火) 富士松真宗教団 夏期講座

以上の事業を自粛とする

お知らせ

●本年度護寺会総会自粛と護寺会費集金取りやめについて
5月11日の責役四役会により、新型コロナウイルス感染症拡大により、本年度(令和2年度)の護寺会総会の開催することが難しいと判断し、開催を自粛することが決定しました。

また、大変な時節となっていることを考慮して、本年度の護寺会費は集めないことといたしました。

●本年度墓地管理費について
順慶寺境内地の墓地管理費は、毎年、護寺会費と一緒に納めていただくことになっておりますが、本年度に限り、順慶寺境内に墓地区画を所有される方に、墓地管理費を別途、コンビニ振込にて納めていただくことになりました。

じゅんこのときめき歳時記

とむもろこし

みなさん、コロナ騒ぎが続いています。元気がありません。五月の終わりに、学校も始まりました。やっと、元通りになれそうです。

ところで、私の住んでいるところの近くでは、六月ごろにトウモロコシが畑に植えてあるのを見えます。しかし、お店では、秋のころにトウモロコシが沢山出ているとお母さんは言っています。

トウモロコシは、南米原産で、コンブスがヨーロッパに持ち帰り、世界中に広がったと言われます。世界では、アメリカが最も多

く収穫していて、日本では、北海道が多いらしいです。北海道では、九月頃に収穫時期となります。もう一回、おじいちゃんトウモロコシ食べたかったな。

畑中に

唐もろこしと案山子かな

山口青郵

